

広
報

なすしおばら

2021年、丑年——。このまち
主役は私たちが!



も
く
じ

年末年始休業一覧	10
なすしおばら KIDS	16
お知らせ掲示板	19
みんなの広報	27
ものづくり若人	30

特集

みんなの声で、モ〜っと
住みやすいまちに。



撮影協力:那須拓陽高校 牛部の皆さん



つかエールチケットで飲食店を応援



医療従事者にカーネーションを贈呈



リフレッシュ！ 宿泊キャンペーン



北那須3市町共同非常事態宣言



小・中学校 分散登校



エールなすしおぼら家学プロジェクト

2020年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症が世界中で猛威を振りました。国は新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」の実践例を公表し、私たちの生活も大きく変化しました。

本市としても「有事である」という認識の下、既存事業を早急かつ徹底的に見直し、財源を確保するとともに、皆さまの生命・健康と地域経済を守ることを最優先に、刻々と変化する状況に臨機応変な対応をまいりました。また、国における緊急事態宣言とは別に、本市独自の「非常事態宣言」、大田原市、那須町との「北那須3市町共同非常事態宣言」など、他自治体に先駆けた市独自のさまざまな取り組みも早期に行っていました。

し、休業を強いられた宿泊事業者を支援するため「リフレッシュ！ 宿泊キャンペーン」を実施しました。このキャンペーンでは、皆さまが心身を癒やすだけではなく、本市の魅力の1つである塩原温泉や板室温泉、豊かな自然などを改めて体感することができたものと感じております。

また、新型コロナウイルス感染症の流行下、そして収束後においても安心して暮らすことができる「持続可能なまちづくり」の具現化に向け、「信頼(安心・安全)」「ウェルネス(心と身体のケア)」「責任」をキーワードに掲げ、今後の観光の在り方を見据えた本市独自の「持続可能な観光モデル」を開始しました。

この未曾有の危機に立ち止まることなく、

加えて、小・中学校における分散登校や、臨時休校に伴い学習を支援する「エールなすしおぼら家学プロジェクト」、経済支援が必要になった人を対象とした奨学金制度「打倒コロナ！ がんばれ勝学生」応援プラン」などを実施し、児童・生徒・学生が安心して学びを継続できるように取り組んでまいりました。

地域経済の支援としては、飲食店応援企画「つかエールチケット」の販売や、「花いっぱい事業」の一環として最前線で感染症に立ち向かう医療従事者にカーネーションを贈る活動、民間保育園への応援金交付、介護・障害福祉サービス事業者への支援金交付などを行ってまいりました。また、外出自粛による皆さまの精神的な負担を軽減

く、皆さまとともに、また、多くの皆さまから感染症対策に係るご寄付をいただきながら、市政運営にまい進できたことに心から感謝を申し上げます。

2021年は、市長に就任して3年目を迎える年となりますが、初心を忘れることなく、先人たちから引き継いだ素晴らしい財産を守りながら、皆さまが安心して住み続けられる「持続可能なまちづくり」に取り組んでまいります。そして、これからも固定観念にとらわれることなく、新しい施策にも力を注いでまいります所存です。

2021年が皆さまにとって笑顔あふれる一年でありますよう、心より祈念申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。



那須塩原市長
渡辺 美知太郎

那須塩原の “ゆく年くる年”

みんなの声で、 住みやすいまちに。

世の中や私たちの暮らしが大きく変化した2020年。市には、「こんな取り組みがあったらいい」「こんなまちになってほしい」という声が数多く寄せられました。今回の特集では、皆さんから届いた意見や質問をもとに、このまちの将来について市長にインタビューを行いました。

2020年は、次のようなアンケートや意見交換会を行いました

- ▼ **新型コロナウイルス対策**
 - ・新型コロナウイルス感染症対応に対するLINEによるアンケート調査
- ▼ **那須塩原駅周辺まちづくりビジョン**
 - ・市民懇談会
 - ・15歳以上の市民2千人へのアンケート調査
 - ・市内県立高校の全生徒へのアンケート調査
- ▼ **市民参加による気候変動の情報収集・分析事業**
 - ・農業者、観光業者、教育分野のヒアリング
- ▼ **市長と市民との意見交換会(みちたろうTO) わくわくトーク**
 - ・テーマ版(まちづくり団体、商店会など)
 - ・地域版(自治会、コミュニティなど)

その声 新型コロナウイルス

— どのような思いで、新型コロナに向き合ってきましたか

コロナ禍において首長には3つの使命があると考え、各施策に取り組んできました。

1つ目は、非常事態宣言の発令や感染を防ぐ方法の呼びかけなどの直接的な対策。2つ目は、自粛で疲弊した経済支援などの間接的な対策です。それに加えて、もう1つ重要なのは「**収束後、急激に変化した社会の中で、本市はどうあるべきか**」を考えることです。これらを同時に、しっかりと進める必要があります。

【画像説明】旅行かばん・ゴミを拾う女性・はっぴを着た男性のイラスト



また、感染者数の増減によって自粛と緩和を繰り返しているのは持たないので、「**最低限これらの対策を行えば、活動できる**」という基準を作り、感染症対策と社会活動の両立を図ることが必要だと考えています。そこで、2020年は観光・自治会活動・イベント開催などのガイドラインを作成しました。これらは、皆さんからいただいた「国が示す注意事項だけでなく、市からも踏み込んだ指針を示してほしい」という声を反映したものです。

— 「正確で早い情報」が求められる今、情報発信について何を心掛けていますか

市などの公的機関は責任を持って正確な情報を提供していますが、今後の予測など、不確実な情報は発信できません。そこで、**市では発信できない部分を補う**ことが、私の役割だと考えています。例えば取り組みを行うまでの経緯や今後の見通しなど、皆さんの判断に役立つような情報提供を意識しています。

また、「市長がどう考えているか」を発信することで、世の中が急激に変化していく中でも、皆さんが将来を予測しやすくなるのではないかと考えています。

— 今後、コロナ禍をどのように乗り越えていきますか

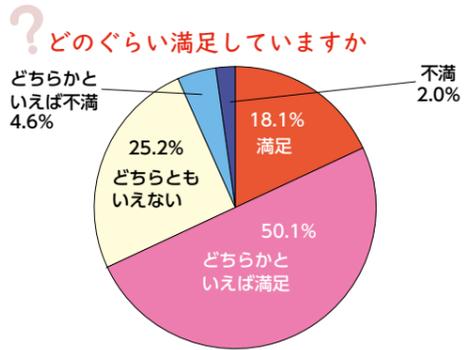
新型コロナの影響が何年続くか見通せない中、場合によっては再び経済支援が必要な事態になるかもしれません。また、感染症対策と教育の両立や医療体制の確保など、するべきことは多いので**柔軟に施策を打っていきます**。

手探りだったところと比べると、新型コロナに対する知見も徐々に増えてきました。2021年はコロナ禍でも開催できるイベントを打ち出すとともに、希望する市民を対象としたPCR検査の実施などにも取り組んでいきたいと思っています。

皆さんに聞きました!

市のコロナ対策についてどう思っていますか?

出典：新型コロナウイルス感染症対応に対するLINEによるアンケート調査(7月)



? 「効果があった」と思う対策は

第1位	北那須3市町の共同非常事態宣言・判断目安の作成(北那須モデル)
第2位	市の非常事態宣言
第3位	自治会活動の自粛要請・ガイドライン作成

? 今後力を入れてほしい対策は

第1位	生活支援
第2位	保健衛生対策
第3位	子育て・教育支援
第4位	観光業者支援
第5位	雇用対策

! 意見・要望を書いてください

※一部抜粋。

- うわさや臆測おくそくが広がる中、市長がSNSなどで最新情報を発信してくれて不安が和らいだ。
- 県外からの来訪客が増えることに、正直、怖さを感じる。
- 感染者が増えたときに備えて、すぐに検査ができる体制を整えてほしい。

意見交換会で寄せられた声を紹介するモ〜!

- 地域の活力になるお祭りがあるといい!
- まちを発展させるには、まず市民が元気であれば!
- 市の子育て支援に協力したい!
- みんなでこのまちを盛り上げていきたい!



その式

まちの魅力

—— 県北の玄関口・那須塩原駅
周辺のまちづくりをどのように
進めていきますか

これまで、有識者会議や市民懇談
会などで、市内外それぞれの視点か
ら意見をいただきました。特に差異
があったのは駅前には何があったらよ
いかというテーマで、市外から来る
人は「那須塩原らしさを感じられる
もの」、市民の皆さんからは「店舗な
どの商業施設」という意見が多かつ
たです。しかし、「今の駅前は寂しい」
「にぎわいのある地域にしてほしい」
という声は共通していて、想像して

いたよりも全体的な方向性に違いが
なかったことに驚きました。
さまざまな意見をもとに、**市民の
皆さんにとって住みやすい駅前**であ
ることはもちろん、市外の観光客や
企業にとっても魅力的で、**民間の資
本を呼び込める駅前**にしていきたい
と考えています。

—— **ブランド力向上と魅力ある
まちづくりのために、どのよう
に取り組んでいきますか**

最近ではGOTOキャンペーンの
影響か、多くの観光客が本市を訪れ

て来ています。しかし、これには
「首都圏に近く手頃な観光地を選ぶ」
というコロナ禍ならではの事情もあ
り、現状に満足してはいけません
。観光客や企業など、収束後も本
市に来てくれる「**まちのファン**」を
しっかりと増やしたいですね。

また、本市は農業産出額が県内
トップ、全国の市町村の中でも上位
17位(平成30年推計)という、農業の
ポテンシャルが非常に高いまちで
す。近年の健康ブームや、コロナ禍
で体の基礎代謝・抵抗力を高めよう
という動きも、農業にとって追い風
になっていくと思います。今後は、
首都圏に向けた新鮮で単価の高い野
菜の生産や、観光と食をセットにし
たPRなど、**高品質・高付加価値の**

農業にさらに力を入れていきたいと
考えています。

雇用の面で言えば、コロナ禍で「地
方に住みたい、働きたい」と考える
人が増えてくると思います。実際、
那須地域に「ワーケーションの拠点
などを作りたい」という企業からの問
い合わせも多くなっているため、こ
れまでとは違った**企業誘致や移住定
住施策**を考えていきます。

※ワーケーション

ワーク(労働)と休暇(バケーション)
を組み合わせた造語。地方や観光地
などで働きながら休暇を過ごすこと
を指す。

皆さんに聞きました！

那須塩原駅周辺の未来に ついてどう考えますか？

出典：那須塩原駅周辺まちづくりビジョン
に関するアンケート調査(9~10月)

どのようなエリアになったら
いいと思いますか

第1位	活気やにぎわいがあり、 散策するのが楽しいエリア
第2位	繁華街や大型店舗を中心とした 多くの人々が集まる商業エリア
第3位	災害に強く、犯罪が少ないなど 安全・安心に暮らせるエリア
第4位	多くの観光客の出発点となる ような観光の拠点となるエリア
第5位	那須塩原らしさや県北の玄関口 として象徴となるエリア

必要だと思う施設は



参加してみたい地域活動や
イベントは



その参

持続可能性

—— 長く住み続けられるまちに
するために、どのような構想を
考えていますか

まず、注力したいのは**環境政策**で
す。近年の国内外の動きを見ると、
今後非常に大きなウェイトを占めて
くると感じていますし、気候変動は
本市の基幹産業である観光と農業に
直接影響を及ぼすので、切り離さな
い課題です。気候変動が起こってか
ら対策を考えるという姿勢ではな
く、**予見性を高め、積極的な対策を
したい**です。例えば、「10年後に気
温が〇度上昇するだろう」と予測さ

れたとします。観光分野では、従来
のように避暑地として売り出すので
はなく、ラフティングやカヤックな
ど暑さを楽しむ観光地への転換、農
業分野では、作物の品種改良や転作
などの対策が考えられます。

また、**自然災害への対応**も課題で
す。特に、災害によって電力供給が
止まってしまうこと。将来的には、
地域で作る電力を非常時に地域内に
供給できるようにするなど、**ライフ
ラインを途切れさせないようにする
必要がある**と考えています。

近年全国で相次ぐ災害や新型コロナ
ウイルス感染症を経験したこと
で、これからの時代は世の中の中に在り
方や常識が大きく変わっていくと思
います。災害やパンデミックが起き

でも「ここに住んでいけば安全・安
心に生き延びられる」というまちに
なるよう、**地域で最低限の自給自足
ができる仕組み**を作りたいですね。



市長から皆さんへのメッセージ

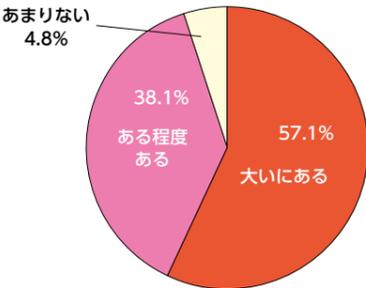
2020年は多くの皆さんにご理
解と協力をいただき、本当に助け
られた1年でした。分散登校や臨時
休校のときに大きなパニックが起こ
らなかったり、マスクや消毒液を多
くの企業や市民から寄付していただ
いたり、市と皆さんとの強い信頼
関係を感じました。この信頼関係を
大事にし、さらに助け合える仕組
みを作りたいと考えています。
皆さんの知恵を借りながら、本市
をよりよいまちにしていきたいと思
いますので、今後ともよろしくお願
いします。

皆さんに聞きました！

日頃の生活で、気候変動の 影響を感じますか？

出典：市民参加による気候変動情報収集・
分析事業 ヒアリング調査(8~10月)

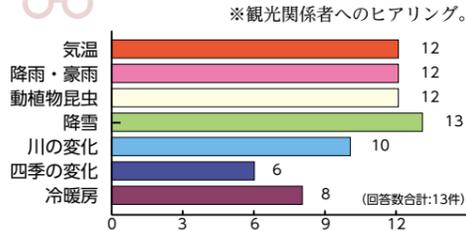
農業 育てている作物への影響は
※農業(耕種)関係者へのヒアリング。



病害虫が増えたため、防除にかかる時
間や経費、薬剤などが変化した。

暑さで果実の大きさがふぞろいになっ
たり、収穫量が減ったりしている。

観光業 身近な環境で感じる影響は
※観光関係者へのヒアリング。



冷房の設置・稼働が欠かせなくなった。

局地的な豪雨がよく発生するようになり、
増水や水害が増えた。

雪景色が見られなくなり、雪かきの手
間が減ってきた。

学校 厳しい暑さによる影響は
※学校へのヒアリング。

学校行事や学習内容の時期や時間帯を
変更した。

屋外や体育館など、冷房のない場所の
暑さが厳しく、活動がかなり制限され
てしまう。



巨大な魚に悪戦苦闘!?
 ~「緊急SOS! 池の水ぜんぶ抜く大作戦」~

那 珂川河畔公園で10月25日に行われた、池の清掃や外来生物の駆除作業に密着するテレビ番組の撮影。お笑い芸人の田村淳さんと田中直樹さん、俳優の中川大志さんのほか、市職員や那珂川北部漁業協同組合の有志が参加しました。魚の捕獲作業が始まると、泥しぶきとともに上がる「重い!」「もう汗だくだ!」の声。努力が実を結び、丸々と育ったコイ560匹と、ブラックバスやアメリカザリガニなどの外来生物を捕獲できました。



みんな元気に大きくなってね
 ~那珂川 ヤマメ稚魚放流~

年 々減少している那珂川のヤマメ。豊かな水産資源を維持するために、地元の釣りクラブ「鮎(あゆ)追い人」がヤマメの稚魚を放流しました。放流当日に準備されたヤマメは、稚魚約5,000匹と発眼卵15,000個。鮎追い人の増子さんは「那珂川北部漁業協同組合や有志からの寄付などで、例年と比べても数が多くなった」と話してくれました。放流には居合わせた子どもたちも飛び入りで参加し、思わぬ貴重な体験となりました。



難しいけど…楽しい!!
 ~埼玉小 パラリンピアンとの交流会~

車 いすバスケットボールでロンドンパラリンピックに出場した増淵倫巳選手が、11月19日、埼玉小の子どもたちと交流会を行いました。初めて競技用の車いすに乗った子どもたちは大興奮。慣れない操作に試行錯誤しながら、最後にはクラス対抗リレーを行うまでに上達していました。子どもたちは増淵選手との交流会を通し、「困難なことにも前向きに挑戦し、あきらめないで努力し続けることの大切さ」を学んでいました。



児童自ら考えた種目にチャレンジ!
 ~三島小 校内陸上記録会~

三 島小6年生の子どもたちによる陸上記録会が10月30日に行われました。今年は市や那須地区の大会が中止となったため、子どもたちが校内での記録会を深澤校長に提案。通常の競技のほかに、100メートル障害走やぴつたり1分200メートルリレーなど「全員が楽しめるように」と工夫を凝らした種目で競いました。新型コロナウイルスの影響で今までどおりとは行かない学校生活の中、子どもたちなりに考えた笑顔あふれる行事となりました。



歩いて、食べて、錦秋の板室を満喫
 ~ONSEN・ガストロノミーウォーキング~

そ の土地ならではの食、自然、歴史、文化、温泉を楽しむ「ONSEN・ガストロノミーウォーキング」が11月7日に板室地区で開催され、100人が参加しました。約8キロメートルのコースの途中に設置された食事ポイントでは、地元産のチーズや野菜を使った料理などが提供されました。夜には旧青木家那須別邸前で交流会を開催。参加者からは「まだまだ知らない地域の魅力や、食を味わうことができた」と笑みがこぼれていました。



みんなの手を借り、石蔵を改装
 ~みんなの蔵TEO お披露目~

塩 原温泉郷の一角にある酒屋の石蔵を改装したイベントスペース「みんなの蔵TEO」。温泉街を盛り上げようと、塩原温泉観光協会職員の君島奈々さんの発案で、思いに賛同する数人の手で約2カ月かけ改装しました。お披露目となった10月下旬には、蔵を改装する様子やまちの人たちを写した写真展を開催し、市民や観光客が足を運びました。君島さんは「地元の人々の願いが叶う空間として活用できたら」と笑顔で話してくれました。



1 紅葉真っ盛りの中を元気に歩きます **2** 国登録有形文化財も見どころの一つ **3** 交流会・シンポジウムの様子 **4** 地元産チーズフォンデュも大好評 **5** ライトアップされた旧青木家那須別邸がシンポジウムに華を添えます



家族で貸し切り! 特別な演奏会
 ~ホールdeピアノ~

新 型コロナの影響でステージ演奏の機会が失われる中、黒磯文化会館と三島ホールの大ホールが無料開放され、計43組が演奏を楽しみました。ピアノ歴6年の楠田捺那さん(中2)・奈央さん(小4)姉妹は「普段のピアノより音が響いて弾きやすい」「楽しい」と話し、舞台の上で練習の成果を発揮。客席に座る家族は「大きなホールで私たちのためだけに弾いてくれるなんて、ぜいたくな機会」と、2人に心からの拍手を送りました。



年末年始 休業一覽

年末年始休日当番医。 歯科休日当番医

※赤い欄が歯科休日当番医です。

当番日	当番医名	☎(0287)
12/29 (火)	あしのメディカルクリニック(那須町芦野)	(73)8885
	みずぬまクリニック(東三島2丁目)	(39)1581
	大田原歯科医院(住吉町)	(63)9323
12/30 (水)	なすのクリニック(共墾社)	(60)5211
	さいとうクリニック(西幸町)	(39)1805
	菅間記念病院(大黒町)	(62)0733
12/31 (木)	菅間記念病院(大黒町)	(62)0733
	はらクリニック(東三島4丁目)	(39)5232
	秋田歯科医院(本町)	(62)0055
1/1 (祝金)	菅間記念病院(大黒町)	(62)0733
	北整形外科内科(三島4丁目)	(38)2151
(歯科休日当番医はなし)		
1/2(土)	菅間記念病院(大黒町)	(62)0733
	大山公園クリニック(下永田3丁目)	(47)7718
	なべかけ歯科(鍋掛)	(60)1717
1/3(日)	菅間記念病院(大黒町)	(62)0733
	小関整形外科(扇町)	(36)0203
	馬渡歯科医院(高林)	(68)1356

歯科休日当番医診察時間…午前9時～正午
※事前に医療機関に電話をしてから受診しましょう。

ごみの収集・受け入れ

ごみ収集・受け入れ休業期間
1月1日(祝金)～3日(日)

※12月28日(月)～31日(木)のごみの受け入れは混雑するため、搬入をできるだけ避けるようお願いいたします。やむを得ず搬入する場合は、時間に余裕を持って搬入してください。
※受入時間は月～土曜の午前9時～正午、午後1時～5時まで。

☎本庁舎 廃棄物対策課
☎0287(62)7030

夜間診療 (那須地区夜間急患診療所)

大田原市中塩原1081-4
(那須赤十字病院本館1階)
診療日時…毎日午後7時～9時30分
診察科目…内科、小児科
☎☎0287(47)5663
※那須地区夜間急患診療所は那須赤十字病院とは別の医療機関です。

水道(年末年始の水道漏水)

施設名	休業期間	☎(0287)
鳥野目浄水場	なし	(62)9848
千本松浄水場		(39)1090

火葬場

施設名	休業期間
那須聖苑	12/30(水)、1/1(祝金)、1/2(土)
大田原市火葬場	

し尿処理

し尿処理施設休業期間
12月29日(火)～1月3日(日)

くみ取り業者名	☎(0287)
協業組合環境整美公社	(23)3231
(有)高安産業	(22)3378
(有)ポート・ワン	(62)1455
(有)新井衛生社	(62)1753
(株)那須清掃サービス	(74)0516
宇都宮文化センター(株)	(32)4570

☎那須地区広域行政事務組合
☎0287(65)3611

年末年始は、休業や営業時間に変更になる施設があるので注意してください。
※休業期間が記載されている施設や事業所などは、休業期間中、連絡が取れません。

市役所・教育文化施設

施設名	休業期間
市役所	12/29(火)～1/3(日)
消費生活センター	
まちなか交流センター「くるる」	
各公民館	
那須野が原ハーモニーホール	
市民活動センター	12/26(土)～1/6(水)
移住促進センター	
田舎ランド嶋内	12/28(月)～1/4(月)
那須野が原博物館	
黒磯郷土館	
黒磯文化会館	
三島ホール	
子育てコミュニティ広場	12/30(水)～1/3(日)

図書館

施設名	休業期間
那須塩原市図書館「みるる」	12/31(木)～1/4(月)
塩原図書館	
西那須野図書館	12/31(木)～1/3(日)

※図書の返却は返却ポストへ(CD・ビデオ・DVDは不可)。

保養・健康福祉施設

施設名	休業期間
板室健康のゆ グリーングリーン	12/31(木)～1/2(土)
長寿の湯	12/30(水)～1/2(土)
塩原温泉 湯っ歩の里	なし
塩原温泉 華の湯	12/28(月)、1/4(月)
遊湯センター	3/31(水)までは冬季休業

スポーツ施設

施設名	休業期間
くろいそ運動場	12/28(月)～1/4(月)
那珂川河畔運動公園	
青木サッカー場	
にしなすの運動公園	
三島体育センター	
関谷南公園	
塩原B&G海洋センター	
塩原運動公園	12/29(火)～1/3(日)
ホースガーデン	

道の駅など

施設名	休業期間
明治の森・黒磯 (直売所・パン工房)	1/1(祝金)～1/3(日)
明治の森・黒磯(レストラン)	12/30(水)～1/3(日)
旧青木家那須別邸	12/29(火)～1/3(日)
湯の香しおばら	1/1(祝金)

ゆ～バス

路線名	休業期間
塩原・上三依線	なし
西那須野外循環線、西那須野内循環線、西那須野線、黒磯線	1/1(祝金)～1/3(日)

ゆ～タク

路線名	休業期間
全ての路線 (新湯線、宇都野線、下大貫線、接骨木線、湯宮線、高林・青木線、寺子線)	1/1(祝金)～1/3(日)

⑤那須塩原市

地域産業の活性化のため、「那須塩原らしさ」や「独自性」を持った特産品を「那須塩原ブランド」に認定しています。塩原高原野菜や温泉水を使ったお酒、乳製品など市の魅力が詰まった商品が本ブランドに選定され、注目度もアップしています。



▶問い合わせ
 農務畜産課 ☎0287(62)7147

④那須町

「那須ブランド認定品」には、生産者・製造者が心を込めて作った米や野菜、肉、乳製品、お菓子など、数多くの特産品があります。道の駅那須高原友愛の森内の「ふるさと物産センター」では、那須ブランド認定品のほか、那須を代表する魅力あふれる商品がそろっています。



▶問い合わせ
 那須ブランド推進委員会事務局(那須町商工会)
 ☎0287(72)0231

⑥大田原市

大田原市では、地域の活性化と地域ブランドの確立のため、優れた特産品を「大田原ブランド」として認定しています。現在、与一和牛や大田原の地酒の他、特産品の栃木三鷹(唐辛子)やアユを使用した食品など16品目を認定し、大田原市ホームページで紹介しています。



▶問い合わせ 大田原市商工観光課 ☎0287(23)3145

⑦那珂川町

11月6日、町内のゆば工場と飲食店15店舗が協力し、新たな名物「那珂川ゆば丼」が誕生。栃木県産の大豆を100%使用した良質な豆乳から作られた濃厚で滑らかな食感のゆばを、各店舗がそれぞれの個性を活かしてゆば丼に仕立てました。「ゆば丼」と書かれたオレンジ色ののぼり旗が目印です。



▶問い合わせ 那珂川町産業振興課 ☎0287(92)1116

⑧大子町

平成30年、国の地理的表示(GI)保護制度に地鶏として初めて登録された奥久慈しゃも。奥久慈の自然の中で野性的に育てられたその肉質は、低脂肪でしっかりと歯ごたえがあり、コクのある豊かな味わいが魅力です。



▶問い合わせ (一社)大子町特産品流通公社
 ☎0295(76)8220

①棚倉町

天然のインスリンとして注目されている菊芋を乾燥させた菊芋チップスやえごまドレッシング、棚倉美泥石けんなど、15品が「棚倉町ブランド」として認証されています。



▶問い合わせ
 棚倉町農作物・物産品ブランド化推進協議会
 ☎0247(33)2113

②埴町

埴町は、江戸時代から現在に至るまで「こんにやく」が地域の食文化として根付いています。近年はさまざまなこんにやくの商品が開発されていて、程よい甘さと独特な食感の「こんにやく餅」や素材の良さを生かした「刺身こんにやく」が人気です。



▶問い合わせ 埴町まち振興課 ☎0247(43)2112

③矢祭町

矢祭町は、福島県内でもトップクラスのいちごの産地として知られています。町内で栽培されているいちごは、粒が大きくて美しい色合いの「とちおとめ」が主流です。1月～2月は寒さが厳しい時期で甘味がしっかり蓄えられるため、最もおいしい時期を迎えます。



▶問い合わせ 矢祭町事業課 ☎0247(46)4576

八溝山を囲む8つの市町で構成、広域的な地域づくりを進める八溝山周辺地域定住自立圏。各市町が誇る一押しの特産品を紹介します。この機会にぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。

八溝山周辺地域定住自立圏
 まちの特産品を紹介します

八溝山周辺地域定住自立圏ポータルサイト



クラウドファンディング

挑戦中



市ホームページ

おんせん・ガストロノミーウォーキング
in那須塩原2021・塩原

令和3年
5月30日(日)
開催予定

スープ入り焼きそば
チーズフォンデュ

News 01

新しい副市長に 亀井雄氏が就任します



現副市長の片桐計幸氏が12月31日で任期満了になるため、新しく亀井雄氏(36歳)が1月1日付けで副市長に就任します。

▼経歴

- 平成19年12月 環境省入省
- 平成30年7月～令和2年3月 環境省環境再生資源循環局廃棄物規制課長補佐
- 令和2年4月 市戦略推進局政策審議監(統括)

○総務課 ☎0287(62)7176

News 02

あいおいニッセイ同和損保(株)と 包括連携協定を締結しました



市とあいおいニッセイ同和損害保険株式会社が、相互に密接に連携することでそれぞれが持つ資源を有効に活用し、地方創生を実現することを目的とした包括連携協定を結びました。

今後、地域の安全・安心、防災・災害対策、産業振興・中小企業支援、観光振興、農業振興などさまざまな分野で連携していきます。

▼問い合わせ
 ○企画政策課 ☎0287(62)7106

News 03

11月15日執行 栃木県知事選挙の投開票結果

【投票結果】

当日有権者数	9万6399人
投票者数	3万6608人
投票率	37.98%

【開票結果】

届出順	候補者氏名	党派名	本市の得票数	県全体の得票数	結果
1	たのべ 隆男	無所属	1万405票	20万4116票	
2	福田とみかず	無所属	2万5793票	41万6628票	当選



▼問い合わせ
 ○選挙管理委員会事務局 ☎0287(62)7183

News 04

市の魅力を広く発信するために 地域おこし協力隊の新隊員が着任



12月9日から地域おこし協力隊の新隊員として、愛知県出身の森岡昇夢さんが着任しました。以前は、製造業の会社で生産管理や子ども向けのものづくり教室の講師を担当していた森岡さん。シティプロモーション課に所属し、今後はなすしおばら映画祭の企画運営や市の魅力発信に取り組んでいく予定です。

▼問い合わせ
 ○シティプロモーション課 ☎0287(62)7128

さとふる クラウドファンディング
支援をお願いします!

寄付金の使い道

- 「ONSEN・ガストロノミーウォーキングin那須塩原2021・塩原」開催に関する経費
- 運営費として、地元産食材や物品の購入など地域の農業者、事業者などへの経済還元
- 塩原の温泉利用クーポン、宿泊割引などの経費
- コースの整備・清掃などの経費
- 感染症予防対策の資材購入

▼問い合わせ 本商工観光課 ☎0287(62)7156

市では、新型コロナの大きな影響を受けた塩原温泉郷を元気づけるため「ONSEN・ガストロノミーウォーキングin那須塩原2021・塩原」を開催します。このイベント実施費用に充てるため、ふるさと納税を活用した「さとふるクラウドファンディング」で寄付を受け付けています。コロナ禍でも安心して参加でき、本市の魅力を味わえる新しいイベントとするため、皆さんの温かい支援をお願いします。本誌8ページと市ホームページでは、令和2年11月7日(土)に板室温泉で開催された様子を紹介しています。

▼寄付受付期限 令和3年1月6日(水)

※ふるさと納税制度を活用したクラウドファンディングのため、市民にはお礼品をお送りできません。